



● 発行所
北海道被爆者協会
札幌市白石区平和通
17丁目北6-7
北海道ノーモア・ヒバクシャ会館内
TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会 ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org) メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

北海道被爆者協会は、来年3月末の

解散を、5/19の総会に諮ります。



1960(昭和35)年に北海道被爆者協会(当時は北海道被団協)が誕生し、間もなく64年になります。「再び被爆者を作るな」を合言葉に、被爆者の援護と核兵器の廃絶を求めて皆さんとともに活動してきました。

前者に関しては不十分ながらも現行の被爆者援護法を制定させ、後者に関しては核兵器禁止条約が国際法として施行される成果を上げて参りました。

しかし私たちが年齢を重ね(昨年3月末で平均年齢5・88歳)、実際に活動できるものも数名になってきました。組織としての日常の実務、遠隔地での会議、協力団体との共同行動、とりわけ冬期間の活動等が困難になってきました。それぞれが病気を抱え、事務局会議にも全員がそろわることが難しくなっています。

加えてヒバクシャ会館の運営をどうするかという差し迫った問題もあります(現在、ある公益法人と折衝中です)。そうしたことを総合的に考え、去る4月25日の理事会で、やむなく標記の方針を総会に諮ることを決定しました。

解散ですべてが終わるわけではありません。解散後は「被爆者連絡センター」(仮称、被爆者・二世・支援者の協力で構成したいと思えます)が窓口となり、「再び被爆者を作らない」との考えのもと、被爆者相談、語り部派遣等の調整、原爆死没者追悼会の実施、ノーモア・ヒバクシャ会館見学者への説明(会館はその後も一定期間オープン)の予定)等を行います。また、北海道・札幌市・日本被団協等との連絡も続けるつもりです。

何卒被爆者協会が抱える諸問題と今回の判断に特段のご理解をお願いする次第です。

会長 廣田 凱 則

最後の証言集を発行

します。ぜひ原稿をお

寄せください。

北海道被爆者協会はほぼ10年ごとに『被爆者の証言』を発行してきました。この度『被爆者の証言』第5集を発行する計画をたてました(2025年3月発刊予定)。おそらくこれが最後の証言集になると思います。

ア. 今まで自らの被爆体験を書いた方も書いておられない方も、この機会に改めて証言をお寄せ下さい。文章の長短は問いません。次代の人びとに伝え残しておきたいことをぜひ書いて下さい。

イ. ご本人が書けない場合は「父(母、あるいは兄弟、我が子)の被爆体験」のように、ご家族の方が代わりに書いて下さっても構いません。あるいは、被爆者協会発行の『被爆者の証言』には載せていないけれども、別なところに発表したものがあればぜひコピーをお貸し下さい。また未発表の原稿やメ



モ. 記録などがあればお寄せ下さい。
ウ. ご自身(あるいは故人)の被爆に関するゆかりの品があればご寄贈下さいませんか。ゆかりの品から被爆の実相を学ぶことは、今後ますます大事になってきます。
お問い合わせは電話またはメールで事務局まで。